

2027 年度 総合型選抜（11 月募集）【課題型（プレゼンテーション）】

理工学部 土木・都市防災コース

1. プレゼンテーション課題

「土木工学」は、社会基盤施設（道路、橋、トンネル、ダム、河川、港湾、空港、上下水道など）を企画・設計・構築・維持管理する工学的な技術や、都市計画、交通計画、防災計画などの社会科学的な手法を通して、災害に強く、豊かで安全・安心な社会を構築し、さらには、自然災害から私たちの生命・財産、そして、都市や地域、社会を守ることを使命とする学術分野です。

地震、火山噴火、豪雨、暴風、高潮などさまざまな自然災害が頻発する日本において、「防災」は常に重要な社会課題の一つです。そして、防災や減災に関わる技術の多くが「土木工学」と極めて密接な関係にあります。まさに「防災」は土木工学の大きな柱の一つです。

ところで、世界中の人々の幸せと地球環境の保護をめざす国際的な取り組みである「持続可能な開発目標（SDGs）」は、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。17 のゴールを示すアイコンには、「土木」や「防災」ということばは、直接掲げられてはいません。しかしながら、生活基盤を支え、人類や社会を災害から守ることは、世界中の人々にとって必須条件であり、必ずや実現しなければならないことです。

そこで、以下の2つを課題とします。

- 1) SDGs の 169 のターゲットの中から、土木・都市防災コースの学びに深く関連すると思われるターゲットを3つ以上選び出し、そのターゲットについて具体的に説明し、その達成に向けて、どのような努力が求められているかをまとめてください。
- 2) あなた自身が「土木または防災」に対して、どのような興味・関心をもって本学を志望し、入学後、どのような学びに期待しているか、その希望を述べてください。

SDGs に関しては、さまざまな資料があると思いますが、たとえば、一般社団法人日本 SDGs 協会のページ (<https://japansdgs.net/sdgs/>) が参考になります。

2. 実施要領および諸注意

(1) 課題のまとめ方

以下の点を含め、発表資料を PowerPoint のファイルにまとめ、試験当日、プレゼンテーションを行ってください。

1) について

- ・取り上げたターゲットについて、背景を理解し、課題や問題点を明らかにする。
- ・取り上げたターゲットと土木・都市防災との関係について明確にする。
- ・あなた自身が考える、目標達成に向けての取り組みの例を示す。
- ・説明を補足し、理解を助けるための図表やイラストを混ぜて資料を作成する。（参考文献からの引用も可）
- ・参考文献は、必ず記載する。

2) について

- ・あなたの希望を率直に述べてください。

(2) プレゼンテーション方法

課題のテーマに関して、自分自身でまとめた内容をプレゼンテーションしてもらいます。プレゼンテーション時間は1人5分です。プレゼンテーションには、PowerPoint を使用してください。発表の際に使用でき

るのは、ノートパソコン（Windows）、プロジェクターです。ノートパソコンには、PowerPoint がインストールされていますので、USB メモリを持参することで、使用可能です。

（3）口頭試問と面接

発表に引き続いて、発表内容や課題に対する取り組み姿勢についての口頭試問を行います。また、志望動機や自己アピールなどの面接も行います。時間は1人15分（発表とあわせて20分）を予定しています。

3. 評価の視点

自然災害や防災、減災、土木工学や社会基盤整備等に関する課題について、試験当日に実施するプレゼンテーションおよび口頭試問と面接の評価、また事前に提出された出願書類の評価を総合して判定します。なお、プレゼンテーションでは、課題に対する原因や問題点の発見能力、解決策や改善策に対する説得性などに関して、事前の調査が十分か、論理的な発表かどうか、質問を理解して的確に回答できているか、などを中心に評価します。

以上

【指定書式の有無、作成方法】

指定書式の有無	☐ 有 ☒ 無（書式指定なし）
課題の成果物 作成方法	☐ 文書作成・プレゼン作成ソフトのみ ☐ 手書きのみ ☒ どちらでも可

【出願時に提出するもの】

提出物の有無	☐ 有 ☒ 無
--------	---

【試験当日に持参するもの】

（要否欄：必：必ず持参するもの ○：持参して使用が可能なもの ×：使用が不可なもの —：該当なし）

内容	要否	詳細・備考
①課題の成果物 (要約シート／課題レポート／課題で取り組んだパワーポイント等をプリントアウトしたもの／模造紙 等)	○	(当日の発表用に Power Point で作成した資料) 自分用に印刷して持参しても構いません
② USB メモリの持参	必	Power Point で作成した発表用資料（電子ファイル）のみを入れたもの。 ファイル名は「KGU_27 課題」とすること。 ※USB メモリ（タイプA）の中は発表に使用するファイルを 1 つだけ保存すること。複数のファイルに分割したり、発表に不要なファイルを保存したりしないこと。

【その他】

プレゼンテーションの際、 パワーポイント発表者ツールの使用可否 (発表でパワーポイントを使用する場合のみ)	使用可能
プレゼンテーション実施にあたり 大学側が準備するもの	プロジェクター、スクリーン、PC

※大学で用意する PC の OS は Windows11、ソフトは Microsoft Office2024 が使用可能です。

※「出願時に提出したものと同じものを試験当日に持参すること」となっている場合、出願後に、作成した資料内容の変更は行わないでください。

※準備する資料の形式、条件等の詳細は「2. 実施要領および諸注意」も参照してください。

※課題の中で許可されているもの以外は、試験時間中に使用することはできません。